

---

# オンラインCAE技能講習会 (日本機械学会公認) 事前準備のお願い 事前配布用

2022/07/25

A改訂 2023/07/07

株式会社インサイト

# 目次

---

- 初めに(1)
- 使用環境について(5)
- 使用ソフトの準備(3)
- 使用ソフトの動作確認(4)
- 本番段取り(2)
- 接続確認会(1)

# 初めに(1)

---

- 本資料で、事前準備の方法について、ご案内致します。
- 講習で主として使用するソフトの名称
  - ADVENTURE on Windows Ver. 0.43b
  - 以下AdvOnWinと略します。
- オンライン講習で使用する、Web会議ソフトの名称
  - Zoom

# 使用環境について(1)

---

- PC自体とネットワークの通信速度(以下帯域幅と略します)両方が十分な性能である必要が有ります。

## 使用環境について(2)

- PC
  - AdvOnWin操作作用兼Zoom用です。
  - 更に、Wordやエクセルの操作が途中必要です。
  - AdvOnWinでは、CPUの性能が十分である事、メモリーが十分である事、3D表示に問題が無い事の両方が求められます。
  - Zoomでは、共有を表示する為、2D表示とCPUの性能両方が求められます。
  - 演習問題自体の規模は小さいですが、Zoom会議に接続しながらなので、最低限のスペックだと、グラフィクスのもたつきやAdvOnWinの停滞が懸念されます。

## 使用環境について(3)

- PC
  - 以下の仕様以上を強く推奨します。
  - CPUスコアは価格com等の比較サイトで確認出来ます。

プロセッサ	デュアルコア2Ghz以上 (i3/i5/i7またはAMDで同等の物) CPUスコア8000以上。 Zoom上でAdvOnWinとエクセル、Wordの操作がもたつかない事。
RAM	4GB(64bit OS)
画面解像度	横1920ドット以上(第2ディスプレイが有れば、1280で良い)

# 使用環境について(4)

- 閲覧用ディスプレイ
  - 自身の操作をすると同時に、Zoom会議で共有される講師の操作状況を見るのに**十分な大きさのディスプレイ**を用意して下さい。
  - **2個目のディスプレイ**を用意されると**運用が非常に楽**になります。
  - ディ스플레이を2個且つ「表示画面を拡張する」を使用している場合の推奨事項(Windows OS用の説明)
    - Zoomでは、「メインディスプレイ」のデスクトップを共有する事
    - さもないと、AdvOnWinで新しいダイアログが表示される時、共有して無い方のディスプレイに表示されてしまい、わざわざそれを、マウスで、共有しているデスクトップの方にドラグ&ドロップで移動しなくてはいけなくなります。

# 使用環境について(5)

---

- インターネット
  - 個人宅や集合住宅のひかり、ケーブルTVの有線接続であれば問題無いです。
  - 上の場合でも、Wi-fi経由の場合、注意が必要です。
  - 計測方法
    - 例えば、<https://www.nperf.com/ja/>
  - 最低レベルは定かでは有りませんが、50Mb/s程度は必要と思います。

# 使用ソフトの準備(1)

---

- 使用ソフト名称
  - ADVENTURE on Windows Ver. 0.43b
  - MeshmanViewer Ver. 0.9b(弊社無償製品ソフト、AdvOnWinにバンドルして提供)
- 動作OS
  - 現在サポートされているWindows OSなら全て動作します。
- ダウンロード
  - [http://www.meshman.jp/storage/advOnWin/AdvOnWin\\_20220712.zip](http://www.meshman.jp/storage/advOnWin/AdvOnWin_20220712.zip)
  - ユーザー名:advCaeUser
  - パスワード:\$35Kote

## 使用ソフトの準備(2)

---

- インストール
  - ダウンロードしたAdvOnWin\_20220712.zipを解凍して適当な場所に置くだけです。
  - 解凍すると、AdvOnWin\_20220712と言うフォルダが出来ます。その下に、
    - AdvOnWin0\_43b と、
    - MeshmanViewerV0\_9 が出来ます。
  - 例えばc:¥の直下を推奨します(日本語やスペースを含まない、なるべく浅い場所)。
  - c:¥AdvOnWin\_20220712と言うフォルダとなります。

## 使用ソフトの準備(3)

---

- 使用マニュアルの置き場
  - AdvOnWin\_20220712¥AdvOnWin0\_43b¥doc¥
- マニュアルファイル名
  - manual\_jp.pdf

# 使用ソフトの動作確認(1)

---

- 動作の問題が有る場合、症状はほぼ以下に限られます。
  - 起動時の警告
  - 3Dグラフィクス表示
    - 真っ白に表示される場合は、大抵マウスをドラグすると正常に表示されます。
  - 或る特定のスクリプトが動作しない
    - メッシュ生成、境界条件GUIの起動等
  - AdvOnWin自体が異常終了する
    - ほぼ、グラフィクスが古すぎるのが原因です。

## 使用ソフトの動作確認(2)

---

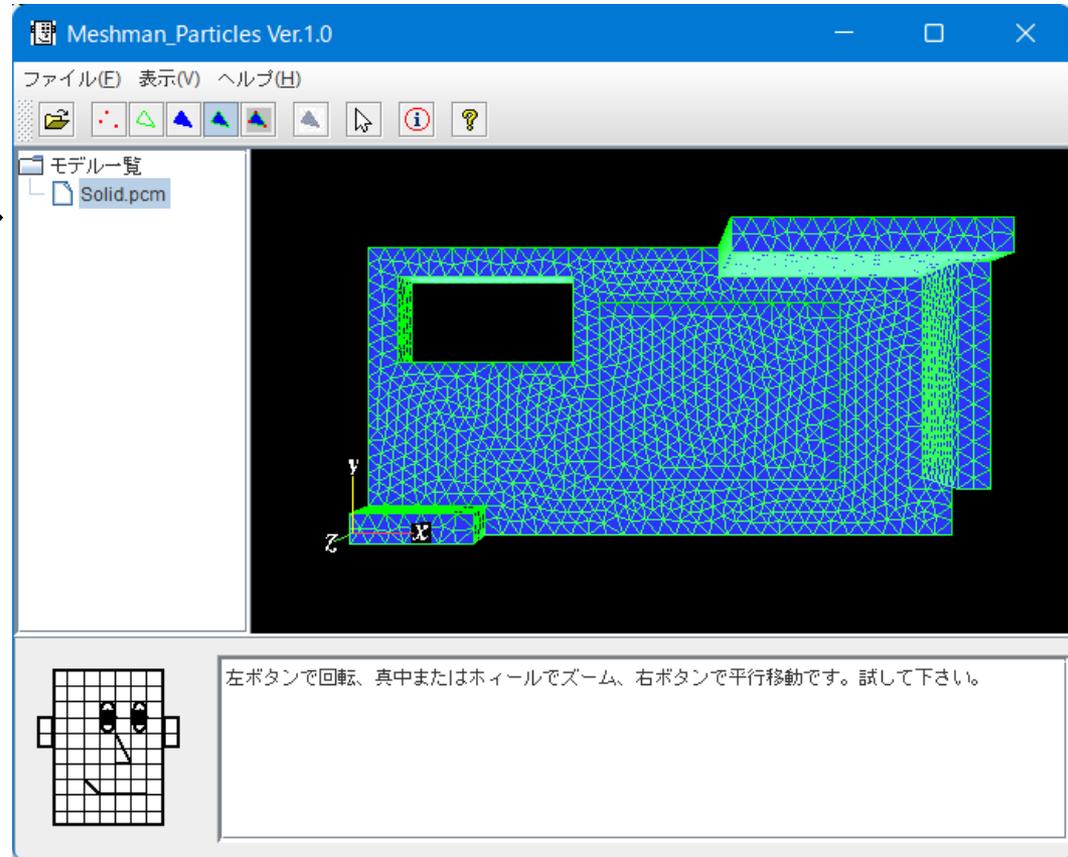
- 動作確認は、AdvOnWinのプログラム使用マニュアルを読みながら行って頂きます。
- 起動時の問題の有無の確認
  - マニュアル3.1節を読んで動作を確認して下さい。
  - runAdvOnWinJ.batはインストールフォルダに在ります。
  - runAdvOnWinJ.batをダブルクリックすると、AdvOnWinは起動します。

## 使用ソフトの動作確認(3)

- 操作の各ステップの動作確認
- samplesフォルダの下に在る、elShape.iagと言う解析ケースを読み込んで頂いた上で、各ステップの動作確認をして頂きます。
- 最低限6.1節～6.5節に従って操作をして、問題が起きないかどうかを確認して下さい。
- より深く理解する為には、4.2節～4.4節も読んで頂いた方が良いと思います。
- 飽く迄動作確認が目的ですので、数値の確認等は不要です。

# 使用ソフトの動作確認(4)

- AdvOnWin0\_43bとMeshmanViewerV0\_9の連携確認
- samplesフォルダの下に在る、test\_1.iagと言う解析ケースを読み込んで下さい。
- 次に、メッシュ(M)→表面パッチ表示(V)を選び、続いて現れるダイアログで「OK」をクリックして下さい。
- すると右図が表示される筈です。
- タイトルバーにMeshman\_Particles Ver.1.0と表記されてますが、気にしないで下さい。



# 本番段取り(1)

---

- 基本問題
  - 講師が画面共有で実演しながら説明。
    - 状況次第では、受講者の画面を共有して頂きます。
  - 受講者は、講師の操作をなぞるように操作する。
- 応用問題1～3
  - 受講者が自分のペースで操作する。
  - 講師自身も画面を共有しながら、操作を適切なペースで行う。

## 本番段取り(2)

---

- 支援が必要な時
- 基本問題、応用問題1～3とも共通
  - 受講者が困ったら、自分で意思表示して支援を要請して下さい。
  - 講師が、自分の共有を停止し、受講者は、自分のデスクトップを共有する。そして、講師が問題が解決する迄支援する。
  - 具体的な方法は、受講者人数等により異なる。

# 接続確認会(1)

- 原則講習会本番開始30分前からの時間で実施。
- Zoomに接続出来る事を受講者に確認して頂く。
- 講師のデスクトップ画面共有を見る事が出来、講師の音声聞こえる事を確認
  - 受講者のデスクトップ画面共有が出来る事
- 支援の意思表示のテスト
- チャットを使用した、講師との遣り取り、又ワークシート等の送受信
- 必要に応じてブレイクアウトルームを用いる